

吉村こずえの議会レポート

12月議会 一般質問より

一期4年間、市民からの声をもとに全ての議会で一般質問を行いました。持ち時間60分のなかで出来る限りのやりとり、毎回緊張の連続です。今回は、緊急浮上した生涯学習問題をふくめ、次の3項目の質問をしました。

1 町田市における生涯学習について

質問の背景

人生80年といわれる時代。学校を卒業あるいは仕事を退職後に、若いころの夢を実現したい・趣味を追及したい・地域で同じ目的をもつ仲間作りをしたいなど、様々な理由で生涯学習にたずさわる市民が増えています。町田市では、社会教育の中核をになう公民館と市民大学(HATS)の講座を中心に多くの市民が活発に学習をしています。

昨年10月「社会教育委員の会議」が教育長の諮問に中間答申を出し、「生涯学習センター機能を実現するため、まちだ市民大学HATSと公民館を総合化し、現中央公民館に生涯学習センターを設置する」等、「実現のための提案」がされました。「市民大学HATSと公民館を総合化するとはどういうことなの？公民館が無くなってしまうのか？」と、市民から不安と疑問の声が上がったため、市の生涯学習に対する方向性をたずねる質問をしました。

問 社会教育の場として実績をあげてきた公民館・市民大学事業をどう評価するか？

答 公民館・市民大学は町田市の生涯学習の主要事業と位置づけている。

問 本答申('10年3月予定)までのすすめ方は？

答 11月に生涯学習センター検討会議を組織してすすめている。

問 本答申までに「社会教育委員の会議」は公民館運営審議会・市民大学運営協議会・利用者の市民の声を聴くべきではないか？

答 議員の提案を「社会教育委員の会議」に伝える。

公民館・市民大学事業を高く評価していると答弁はありましたが、検討会議のメンバーは市職員のみ。利用者

である市民の意見が反映されるように強く要望しました。

仮に、答申をうけて生涯学習センターという名称になった場合、社会教育法で定められた公民館が無くなる可能性が出てきます。経済的基盤の弱いサークルなどは無料で使える施設がなくなり、活動の継続が困難になるとの声もききました。市民の学習する権利を底辺から支える役割をになう公民館の存続は、大変重要。今後の動向に注意が必要です。

2 子どもの居場所・遊び場について

問 子どもたちが自由にボール遊びをしたり、全力疾走のできる遊び場を調整池の活用で確保してほしいがどうか？

答 安全が第一なので調整池の多目的利用は難しい。

問 昨年校庭の遊び場開放事業「まちとも」が「子どもの居場所作り地域懇談会」のメンバーに何の相談もなく予算がつけられた。委託先もシルバーにおまかせで、地域で子どもの育ちを応援してきた市民との協働になっていない。一方、地域子ども教室の一枚あたりの予算は削られた。来年度は、子ども教室にも十分な予算配分を望むがどうか？

答 子どもの居場所推進会議でバランスの取れた事業展開を考えていく。



子どもたちが自由にのびのび遊べる場所の確保は大人の責任といえます。積極的かつ柔軟な考えでこうした場所の確保を進めてほしいもの。また、子どもの遊び場こそ地域の心ある大人が見守ることが肝心ではないでしょうか。

3 子育て支援に家庭訪問型のホームスタート事業の導入を。

問 出産から子育てまでの切れ目のない支援を充実させるため、清瀬市でも導入された英国発のボランティア、ホームスタート事業を町田でも導入してはどうか？

答 家庭を訪問し、親に寄り添い話をじっくり聞く傾聴中心の子育て支援ととらえ、「こんにちば赤ちゃん事業」との整合性をはかるなど研究していく。

子育て環境の急激な変化で、以前とくらべ子育て中の親の孤立感が深まっています。寄り添って支え、励ますタイプのホームスタートのようなフレンドリーな子育て支援に町田でも積極的に取り組んでほしいものです。



町田市議会議員 **吉村こずえ**

お知らせ ◆吉村こずえと町田の未来をえがく市民の集い
とき 1月26日(火) 午後2時より ところ 市民ホール第3会議室 無料
こんなまちに住みたいと語りあいましょう。市長候補の秋山てつおさんも来場します。ぜひ、ご参加ください！

自宅: TEL&FAX 042-797-2069 携帯090-4200-4549

事務所: TEL&FAX 042-793-3944 馬場の交差点MGヒルズ1F

<http://www.yoshimura-kozue.com>

活動報告をどんどん更新しています。



携帯からもどうぞ！